



目次 —巻頭言—

農学部分館長になって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

報告!!平成 20 年度愛媛大学図書館企画展を開催・・・・・・ 2

「米山没後百年展 -米山日記の世界-」

学術講演会を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

図書館で働く職員より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

平成 2 1 年度のデータベース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

図書館からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

図書館日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8



## 農学部分館長になって

農学部分館長 水谷房雄

2008年11月  
から農学部分館  
長になった水谷房

雄です。農学部は本学城北キャンパスから離れた樽味にキャンパスがあるため図書館の分館だけではなく、総合情報メディアセンターの分室があり、農学部の教職員・学生の研究教育に支障をきたさないようにしています。農学部にはさらに附属施設があり、附属農場、附属演習林、附属制御化実験実習施設、附属環境先端技術センターがあります。附属農場は旧北条市にあつて、私は1994年から2007年まで附属農場の専任教員をしており、学生の教育では農学部は生物生産システムコースに属していました。2007年からは農学部に配置換えになり、附属農場が兼任という形に変わりました。附属農場は樽味キャンパスから21kmも離れているので、生物生産システムコースから農学部の委員の選挙があると、決まって農学部紀要の編集委員に選ばれていました。附属農場が離れていることと、年に2度くらいしか委員会が開かれないことを配慮してコースの教員が配慮をしてくださったのだと思います。その間、農学部紀要の編集委員長をしたこともあり、今回、分館長に推薦されたのかも知れないと思います。

図書館農学部分館が農学部の教職員・学生にとって少しでも利用しやすいように改善できるよう努力をしたいと願っ

ています。

### 記憶と記録

『図書の定義』をインターネットで検索すると、「図書とは、知識を伝えることを目的として、文字か絵画で一定の形をした材料の上に記録された著作物である。」（劉国鈞著、松見弘道訳『図書の歴史と中国』1963, p. 26）とあります。外国語では、西洋でビブリオ(biblio; 書誌学 bibliography)が基本語となっており、語源はギリシャ語のbibliaから来ています。bibliaは紙の原料となるパピルスの茎の内皮ビブロス(biblos)に由来するとされています。5世紀頃から、西洋では最も代表的な書物として、聖書をBibleと呼ぶようになり、旧・新約聖書は今も世界で最も読まれているベストセラーです。

人間の社会に図書という媒体がなく、記憶による口述伝承だけがコミュニケーションの手段だとすると人間の文化はこれほどまで発達しなかったのではないのでしょうか。有名な『エビングハウス忘却曲線』というのがあります。これは私たち人間は学習したことを、30分後には40%忘れ、24時間後には66%忘れ、3日後には75%、1ヶ月後には80%を忘れてしまうというものです。忘れないために、何かに書き残しておくことが大切なのです。

ある時、こういうことがありました。附属農場の技官さんが化学分析をするの

にその方法が分からないというので、私が図書館農学部分館から本を借りてきて、その技官さんに貸したことがあるのです。何ヶ月か経って、その技官さんに尋ねるとその本は借りてないと主張するのです。私の父が生涯日記を付けていたという影響もあって、私もいつしか日記を付けるようになり、1992年頃からはパソコンを利用して日記を書いていたので、その日の日記を開けてみるとちゃんとそのことが記載してあるのです。そのことをその技官に告げるともう反論はありませんでした。私たちの脳の記憶は忘却の一途にあり、その意味で記録である図書は私たち人類の貴重な財産なのではないでしょうか。

### 記録のデジタル化

記録のデジタル化が進んでいます。紙媒体の図書から電子媒体への変換が急速

です。電子ジャーナル、電子図書館など。学会誌への投稿も電子メールで行われるのが日常になってきました。図書館は業務として、世界の情報を得て教職員・学生に提供するばかりでなく、愛媛大学の貴重な情報を世界に発信する任務を担っていると考えます。農学部紀要では最近号のpdf化がなされ、ホームページでの掲載がなされています。古い号は著作権の問題があり難しいとのことですが、何とかこの点をクリアーして、全号のpdf化を実現したいと願っています。新約聖書にも「ともし火をともして升の下に置く者はいない。」(マタイによる福音書5章15節)とあります。世界の人に知ってもらおうと紙媒体に記録したものを升の下に隠しておく様なことをしては、それこそモットイナイのではないのでしょうか。

## 報告その①

# 平成 20 年度愛媛大学図書館企画展を開催

## 米山没後百年展 -米山日記の世界-

図書館では地域社会への貢献事業の一環として、2008年12月5日～14日まで、図書館企画展 2008「米山没後百年展 -米山日記の世界-」を開催しました。

本企画展は平成17年度から開催しているもので今回が4回目です。今年度はその没後百年を記念して伊予松山の神官で書道家の三輪田米山(みわだ べいざん、1821-1908)を取り上げました。

中央図書館2階ラウンジにて、図書館所蔵の「米山日記」を中心に32点の資料を展示し、資料展示期間中に約900人が訪れました。また12月7日には、教育学

部にて、講演・シンポジウムを開催し、会場は約300名の参加者で超満員となり、服部一啓(福岡教育大学)、菊川國夫(元愛媛大学)、福田安典(教育学部)、三浦和尚(教育学部)の4名のパネリストの先生方による熱いディスカッションが繰り広げられ、参加者からは来年度以降も引き続き開催されることを期待する声が多く寄せられました。

なお今回展示した「米山日記」は平成21年度以降に、順次、電子化して、インターネットで公開していくことも企画しています。



熱心に聞き入る参加者



展示会場で説明を受ける柳沢康信理事（現学長）

報告その②

## 学術講演会を開催

### 図書館資料の有効活用-グローバルな視点から-

図書館では、毎年図書館活動の活性化と職員のスキルアップを図るべく学術講演会を開催しています。22回目となる今回は財団法人 日本科学協会 教育・研究図書有効活用プロジェクト室 室長代理の 顧文君氏を招き、『図書館資料の有効活用-グローバルな視点から-』をテーマとして、2月26日に開催し、県内8機関の図書館職員27名の参加がありました。

講演では、日本で処分される図書を収集し、アジア近隣諸国の大学・研究機関に国境を越えて寄贈し、教育・研究への活用を

通じて国際的な情報共有の促進、相互理解の深化、友好親善の増進を図る 財団法人日本科学協会の「教育・研究図書有効活用プロジェクト」の実施状況が、ユーモアを交えて説明され、参加者は熱心に聞いていました。

講演後の意見交換においては、書庫の狭隘化等、図書館の抱える問題点について、参加者が所属する図書館の現状が報告され、また、地域の方に図書を寄贈する公立図書館の取り組み例を挙げるなど、活発な議論が交わされました。



講演会風景

## 必見！図書館で働く職員より

### 新入生へのメッセージ

家方 真由美



まずは、愛媛大学に御入学おめでとうございます。ドキドキ(一部ときめき?)の大学生活が始まりましたね。

色んな「初めて」があなた方を待ち受けていますが、充実した大学生活を送るためには『自分が主体的に動く』ことが大事になります。

ぼーっとしてたら4年なんて、あっという間です。それでも楽しく過ごせますが、大学生活で何をしてどんな風に楽しかったか聞かれたとき、「えーっと・・・」となること請け合いです。後悔しないようどんどん興味のある事に挑戦して下さい。

『自分が主体的に動く』ということは、大学での勉強についても同じです。

大学の講義は高校の授業と異なります。高校生の時には科目にたいして教科書があり、授業が行われていました。もちろん先生が印刷したプリントを補助的に利用することもあったかと思います。

大学では教科書と指定されて購入した図書は高校時代と違い、本当に「本」です。講義によっては教科書がなく、プリントが配布され、それをもとに講義が進められていくことも多いです。教科書がある場合でも、利用するのは一部のみのもこともあります。恐ろしいことに、口頭と板書のみということも・・・。

では、どんな風に「勉強(予習・復習)」をしていけばいいのでしょうか？

教科書がある場合には、当然、教科書を読むことが考えられますが、配布物しかな

かったり、それすらない場合には「予習」は難しいですね。

どんな場合でもできることは「復習」ですが、ノートや教科書を見返すだけでは高校時代と変わりません。

講義中にわからなかったことや興味をもった事項について調べたり、関連する資料(図書・雑誌・インターネット上の情報)を読み進めて下さい。そうして得た知識・情報を自分なりに考えてまとめた時、講義の内容・知識が完全に自分のものになります。

大学での勉強方法の具体的な技術は「新入生セミナー」、「コース初歩学習」で学んで下さい。とてもためになります。

なんだかCMのようになりました。宣伝ついでに(これこそ本題かも?)、大学図書館には勉強に有用な専門書以外にも、大学生活を充実させるのに役立つ図書がたくさん置いてあります。

例えば「大学生なんだから海外旅行がしたい!」というあなたには、「地球の歩き方」(請求記号:290.23/TI/A01~E06 中央館所蔵)。「時間はたくさん、映画を見倒したい!」というあなたには、雑誌「キネマ旬報」(中央館所蔵)などなど。スタッフ一同皆さんをお待ちしておりますので、毎日でも利用して下さいませ。

大学時代に『自分が主体的に動く』経験をするには、とても大きな財産になると思います。社会に出れば、それが普通のことだからです。大学生活を思い切り楽しむ

ことが、社会人としての鍛錬を積むことにつながるのです。どうか皆さんアクティブ

に 4 年間で過ごして下さい。  
(資料整備チーム 家方 真由美)

## 平成21年度のデータベース



### Nature バックファイル(1987-1996)

2009年3月12日より、Nature(電子ジャーナル)のバックファイル(1987-1996)を導入しました。これにより、1987年325巻から現在までの全文を利用することができます。

### Cambridge 電子ジャーナル(人・社系 139誌)

2009年1月より、Cambridge University Pressが発行する電子ジャーナルの内、人文・社会科学系139誌が利用可能になりました。

### 日本語の文献の二次情報を収録する総合的なデータベース

#### 国立情報学研究所「CiNii(サイニイ)(機関定額制)」

を導入しました。

学協会誌・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引などの学術論文情報を検索できます。論文の引用-被引用関係の表示や論文本文へのナビゲート等の特徴があります。学内からアクセスすると定額許諾約400誌を無料で利用できます。

\*日外アソシエーツ「Magazine Plus(マガジンプラス)」は平成21年3月31日をもって終了しました。

### 事典データベース

「Japan Knowledge(ジャパノレッジ)」がパワーアップし「Japan Knowledge +N」になりました。

平成20年度は「Japan Knowledge」「日国オンライン(日本国語大辞典)」は同時利用人数各1名でしたが、「+N」では「Japan Knowledge」「日本国語大辞典」にさらに「字通」が追加され、一括で検索できるようになりました。さらに、同時利用人数が2名になりました。

### 化学文献情報データベース

#### 「SciFinder(サイファインダー) Web」

従来のソフトウェアインストール型の「SciFinder Scholar」からWeb版に移行しました。

今後はパソコンを固定せず利用することができます。

#### 「日経BP記事検索サービス 大学版」

日経BP社が発行する雑誌約50誌のバックナンバー記事を、オンライン上で、テキスト形式(本文のみ)またはPDF形式(記事全体・雑誌イメージそのまま)でダウンロードできるサービスです。

雑誌の分野は、ビジネス、コンピュータ、パソコン、ネットワーク、電子・機械・科学関連、建設・土木、サービス、医療と多岐にわたります。

レポートや就活に大いにご活用ください。

# 図書館からのお知らせ

## 中央図書館



### 誕生！子規の部屋（少ししゃべれる学習室）

平成 20 年 2 月から、中央図書館 4 階 2 閲覧室が、新しく生まれ変わりました！その名も『子規の部屋』です。この部屋は、従来の図書館の閲覧室とは少し違った、別名「少ししゃべれる学習室」です。お友達とおしゃべりしながら勉強したいときには、ぜひこの部屋をご利用ください。グループ学習室のように予約は必要ありませんので、お

気軽にどうぞ。もちろん、話しながら勉強ができるようになりますが、飲食は厳禁です。図書館のマナーを守って部屋を使いましょう。

『子規の部屋』という愛称は、学生さんの応募の中から決定いたしました。（愛称募集期間：1 月 14 日～1 月 31 日）延べ 238 案ものご応募ありがとうございました。

### 春のガイダンス予定

#### ●図書館利用ガイダンス

学部新生生向けに、図書館の基本的な使い方をご案内します。

4 月～6 月に「新生生セミナー」「コース初歩学習」の授業 1 コマ分で行います。

前日までにサービスカウンターでご予約ください。ご予約のない回は実施しません。

\* 平成 21 年度・前学期・大学院教育学研究科「学校教育の総合的研究」では授業中に同内容を行います。

#### ●大学院生のための図書館ガイダンス

初めて愛媛大学図書館を利用する大学院生向けに、研究に使える図書館の使い方をご案内します。

開催日時（第①回～第⑩回、内容同じ）

月/日 時間	4/13 (月)	4/14 (火)	4/15 (水)	4/16 (木)	4/17 (金)
10:30～ 11:30	①	③	⑤	⑦	⑨
15:00～ 16:00	②	④	⑥	⑧	⑩

#### ●新任教職員オリエンテーション

人事課主催のオリエンテーション内で図書館の利用法を説明します。

●「レポート・論文のための資料集め講座」  
通年で開催しています。

### 平成 20 年度講習会実施報告

(全館)

	合 計	
	回 数	人 数
学部新入生	25	1633
院新入生	8	42
留学生	2	35
教職員	3	229
資料集め講座	27	341
データベース講習会	7	49
合 計	72	2329



平成 20 年度のミニ展示

- |   |  |
|---|--|
| 第 1 回 2008/4/1～4/20<br>新入生うえるかむ         | 第 6 回 2008/9/5～9/30<br>国語の教科書を読み直そう              |
| 第 2 回 2008/5/21～6/19<br>三輪田米山没後 100 年   | 第 7 回 2008/10/1～10/16<br>去年のブックハンティングで買った本       |
| 第 3 回 2008/6/20～7/3<br>平成 20 年度教科書展示会   | 第 8 回 2008/10/17～11/13<br>ノーベル賞 2008             |
| 第 4 回 2008/7/4～8/3<br>図書館が「ター」のオススメ本拡大版 | 第 9 回 2008/11/14～12/17<br>新着図書増殖中                |
| 第 5 回 2008/8/4～9/4<br>2008 年北京オリンピック    | 第 10 回 2008/12/18～2009/3 月末<br>今年のブックハンティングで買った本 |

医学部分館



春のガイダンス予定

- |   |   |
|---|---|
| 4 月 1 日 (水) 15:00-15:20<br>新研修医オリエンテーション<br>「図書館の利用法と文献の入手方法について」 | 4 月 21 日 (火) 18:00-19:30<br>医学系研究科医学専攻 1 回生<br>「研究情報収集法と図書館利用法」 |
|---|---|



4月24日(金) 14:40-17:00 (予定)  
preBSL(医学科5回生)講義  
「文献検索法」

5月8日(金) 14:40-16:10  
医学科・看護学科新入生セミナー  
「図書館利用ガイダンス-図書館を使い  
こなそう!-」



### 新農学部分館長就任

平成20年11月1日、水谷房雄(みずたにふさお)教授(生物生産システム学専門教育コース・柑橘学)が図書館農学部分館長に就任されました。

任期は平成22年10月31日までです。また、これまで2期4年間ご指導をいただきました橋前分館長に、厚く御礼申し上げます。

## 図書館日誌(会議, 研修など)

- |        |  |  |
|--------|--|--|
| 10月3日  | 理学系学長会議図書館視察   | 長会議・人事担当課長会議 岡山大学 課長出席                           |
| 10月6日  | 大学図書館職員短期研修(京都大学 10日まで)                                | コミュニケーションスキル研修 本部第2会議室                           |
| 10月14日 | Web of Science利用説明会 重信キャンパス                            | 11月10日 Scopus+ScienceDirect利用講習会 樽味キャンパス 重信キャンパス |
| 10月15日 | Web of Science利用説明会 樽味キャンパス 城北キャンパス                    | 11月12日 Scopus+Science Direct 利用講習会 城北キャンパス       |
| 10月16日 | 国立大学中国四国地区実務者会議(山口市 17日まで)                             | 11月13日 第44回日本医学図書館協会 中国・四国部会総会(高松市 14日まで)        |
| 10月23日 | 大学評価・学位授与機構 施設視察 第49回中国四国地区大学図書館研究集会(山口市KKRあさくら 24日まで) | 11月18日 第3回医学部図書情報委員会                             |
| 10月28日 | 「長浜町町会所記録」記者会見   | 11月19日 第3回農学部分館運営委員会                             |
| 10月30日 | 第12回資料保存研修(国立国会図書館関西館, 10月31日まで)                       | 11月28日 「米山没後百年展」オープンセレモニー (椿神社)                  |
| 11月7日  | 中四国国立大学図書館所管部課   | 第3回図書館委員会  |
|        |  | 11月29日 「米山没後百年展」 (椿神社~12月14日まで)                  |

- |        |  |       |   |
|--------|--|-------|---|
| 12月 1日 | 韓国大学生訪日研修団訪問   | 2月16日 | ダムウェーター工事開始   |
| 12月 5日 | 図書館企画展示<br>「米山日記の世界」<br>(中央図書館2階14日まで)                       | 2月19日 | 企画力強化研修(本部第二会議室)  |
| 12月 7日 | 図書館企画展シンポジウム(教育学部2号館1F大講義室)                                  | 2月26日 | 平成20年度学術講演会<br>『図書資料の有効活用<br>-グローバルな視点から-』<br>中央図書館4F3閲覧室 講師:<br>顧文君氏(日本科学協会) |
| 1月28日  | 平成20年度国立大学図書館協会<br>中国四国地区協会事業委員会<br>総会(広島大学附属中央図書館<br>30日まで) | 3月 6日 | 第4回医学部図書情報委員会   |
| 1月29日  | 平成20年度国立大学図書館協会<br>地区協会助成事業ワークショップ<br>(広島大学中央図書館)            | 3月16日 | ダムウェーター竣工   |
|        |  | 3月17日 | 第5回 図書館委員会  |
| 1月30日  | SPOD-SD合宿セミナー(国立大洲青少年交流の家-31日)                               |       |   |

愛媛大学図書館「図書館だより」第86号

2009年4月1日発行

編集：館報編集委員会

発行：愛媛大学図書館

〒790-8577 松山市文京町3番

TEL (089)927-8845